知床半島における携帯電話基地局整備に関する経過

- R6. 6. 7 令和 6 年度第 1 回知床世界自然遺産地域科学委員会開催
世界自然遺産の顕著で普遍的な価値（OUV）への影響について、環境省の見解を報告
⇒科学委員会から、次の助言。
①希少植物やオジロワシを含め、環境及び生態系調査が不十分であり、OUV への影響を判断することはできない。
このため、工事を一時中断して、調査を実施し、改めて影響を評価すべき。
②科学委員会が助言する役割には無いものの、携帯電話基地局整備の必要性について、地域で検討してほしい。
- R6. 6. 28 世界遺産センターから、本件について情報提供を求めるレターを受理
⇒知床の携帯電話基地局整備が OUV に悪影響を及ぼす可能性があるとの第三者情報を世界遺産センターが受理したため、「世界遺産条約履行のための作業指針」174 項に従い、締約国に情報提供を求めたもの。
⇒これに対し、8 月 30 日付け文書にて、世界遺産センター宛てに、携帯電話基地局整備の経緯と現状、工事の概要、科学委員会による助言の内容を回答。
※現時点で、本件に関する世界遺産センターからの更なる照会等は来ていない。
- R6. 8. 16 科学委員会から、OUV への影響を評価するための具体的な調査項目を助言（科学委員会事務局から事業者に対して、当該助言内容を伝達）。
その他、携帯電話基地局の規模の根拠、火災やパネルの破損等の事故発生時の対応方針・予防措置等についても回答を求めた。
- R6. 9. 4 令和 6 年度第 2 回知床世界自然遺産地域科学委員会開催
- R6. 10. 11 知床半島地域通信基盤強化連携推進会議（第 3 回）が開催され、知床岬地区については、地元の合意が失われており当初計画に基づく事業は一旦中止とし、ニカリウス地区については、地元の強い要望があることを踏まえ早期に工事が進められるよう必要な環境調査を実施していく方針を決定。
⇒事業者側において、科学委員会の議論も踏まえ、ニカリウス地区の整備内容や環境調査の内容について検討中。
- R6. 12 月 ニカリウス地区に係る環境調査の一部を実施。